

4 全国の調査結果の概要

(1) 児童生徒の体力・運動能力の状況

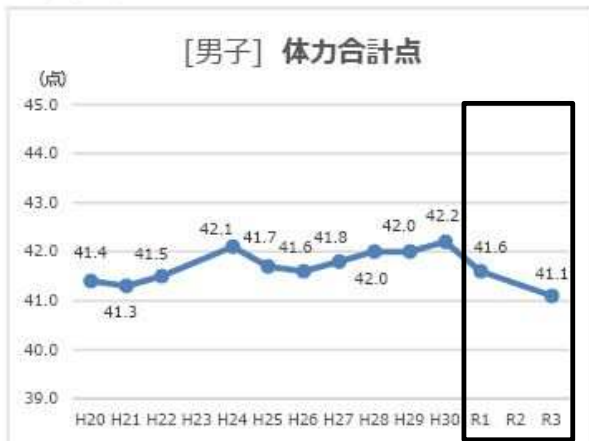
① 体力合計点の状況

平成20年度の調査開始以降の推移をみると、小・中学生の男女ともに令和元年度以降低下傾向が見られる。新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく低下しており、特に、小・中学生男子は過去最低の数値であった。

(小学生)



(中学生)



主な背景

- 授業以外の運動時間の減少
- スクリーンタイム*の増加
- 肥満である児童生徒の増加

*スクリーンタイム…平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機などによる映像の視聴時間

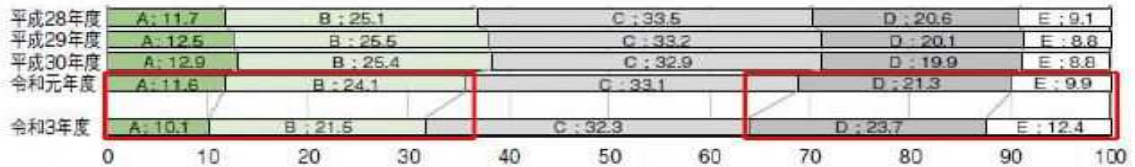
令和元年度から指摘された上記3点については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、更に拍車がかかったと考えられる。また、感染防止対策に伴い、学校の活動が制限されたことで、体力向上の取組みが減少したことも考えられる。

② 体力合計点の評価の状況

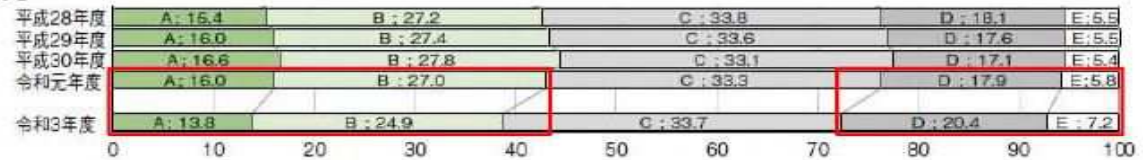
体力合計点の評価の変化をみると、令和3年度は、小・中学生男女ともに、A・Bの割合が減少し、D・Eの割合が増加しており、全体的に体力合計点が低下していると推察される。

(小学生)

● 男子



● 女子

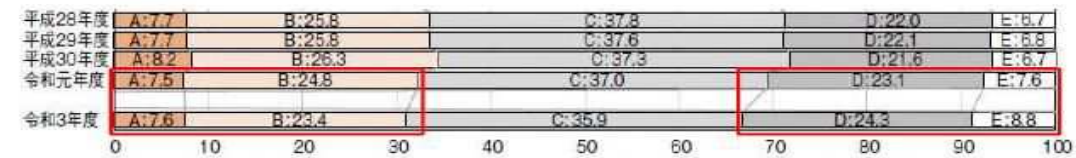


(中学生)

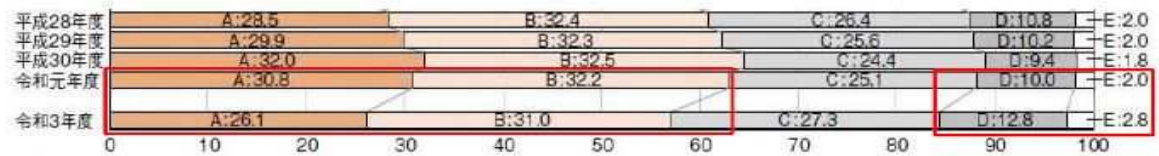
● 男子

A・B が減少

D・E が増加



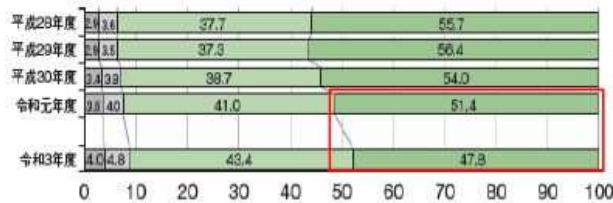
● 女子



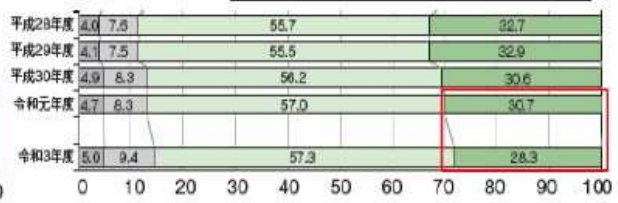
(2) 児童生徒の運動時間（体育の授業を除く）

1週間の運動時間が420分以上の割合は、減少しており、特に男子の方が顕著である。

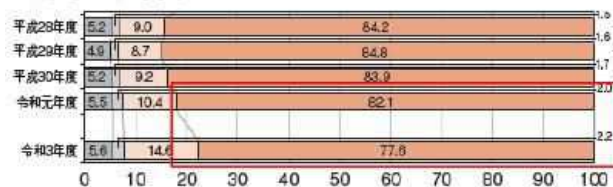
(小学生) 男子



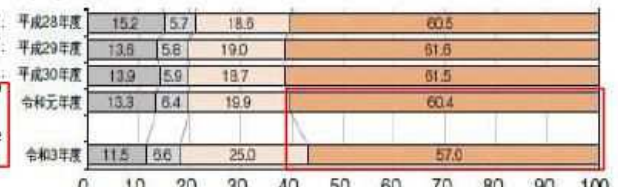
(小学生) 女子



(中学生) 男子



(中学生) 女子



【運動時間別の体力合計点】

1 週間の運動時間が 420 分以上の児童生徒は、それ以外の児童生徒と比べ体力合計点が高い

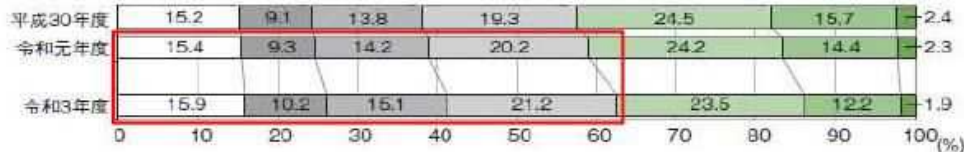
	小学生		中学生	
	男子	女子	男子	女子
420 分未満	48.4	52.8	33.2	41.8
420 分以上	56.9	59.3	43.3	53.3
全国平均	52.5	54.7	41.1	48.4

(3) 児童生徒の生活習慣

① スクリーンタイムの状況

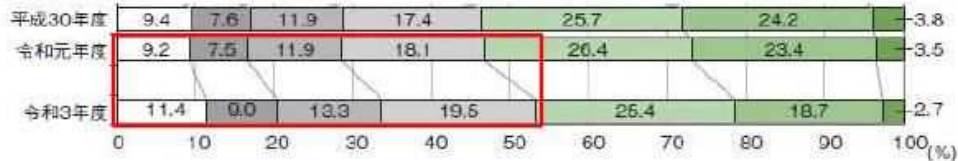
スクリーンタイムは増加しており、特に小・中学生の男子が長時間化している。

(小学生) 男子

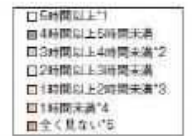
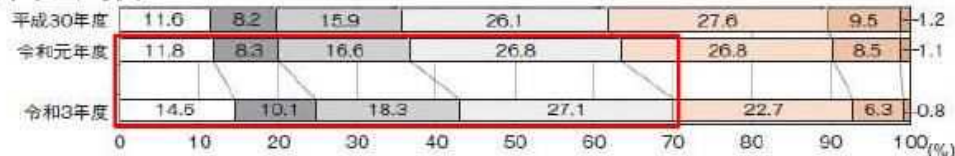


平成28年度は
 *1 5時間以上
 *2 3時間以上5時間未満
 *3 1時間以上3時間未満
 *4 1時間未満
 *5 全く見たり聞いたりしない

(小学生) 女子

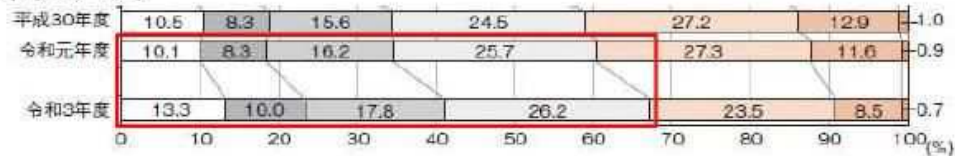


(中学生) 男子



平成28年度は
 *1 5時間以上
 *2 3時間以上5時間未満
 *3 1時間以上3時間未満
 *4 1時間未満
 *5 全く見たり聞いたりしない

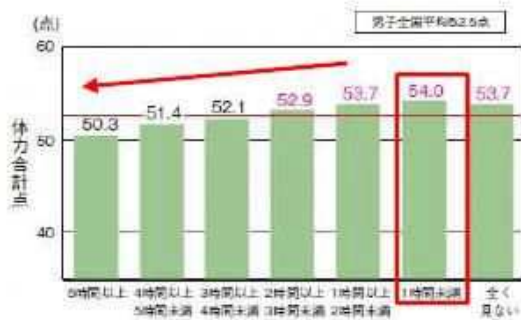
(中学生) 女子



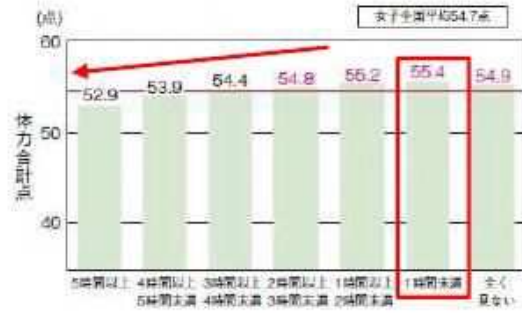
【スクリーンタイムと体力合計点との関係】

スクリーンタイムが長時間化になると、体力合計点が低下する傾向がみられる。

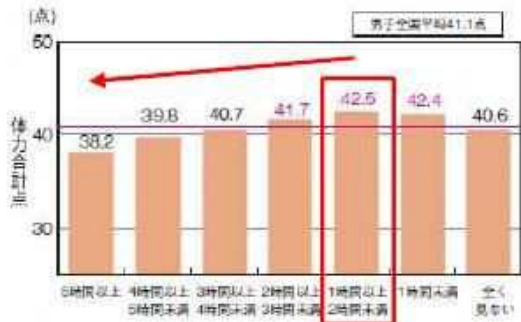
(小学生) 男子



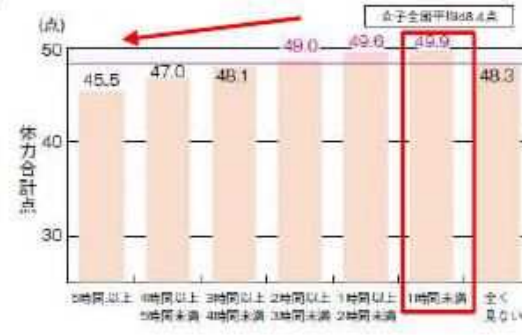
女子



(中学生) 男子



女子



② 児童生徒の体格の状況

小・中学生の男女ともに、肥満の割合が増加。

○肥満である児童生徒の割合の経年変化



【体格別の体力合計点】

肥満である児童生徒は、その他の児童生徒と比較し、体力合計点が低い傾向がみられる。

	小学生		中学生	
	男子	女子	男子	女子
痩身	52.5	53.8	35.9	44.8
普通	53.5	55.2	42.0	49.0
肥満	46.8	50.2	35.0	43.4
全国平均	52.5	54.7	41.1	48.4